

# 基本政策シート

2026年度	(管理番号)			部局名
	分野	基本政策		環境部
	04	02	01	

分野	基本政策
環境・くらし	循環共生型社会の実現

## 将来の理想の姿(2044年)

脱炭素や資源循環の取組が進み、豊かな自然が守られ、市民主体のまちづくりが進んでいる。

## 10年後(2034年)の理想の姿

市民一人ひとりの日常生活や事業者の経済活動において、環境に対する負荷が低減するとともに、環境を保全する活動が浸透し、豊かで良好な自然環境と社会経済活動が共存し、快適で安全・安心な生活環境が確保されている。

## 生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生活環境の良好度	あなたの暮らしている地域は、快適で良好な環境にあると感じますか。	3.31	3.30				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

## 政策体系

政策番号	政策	事業名	担当課名	
01	01	循環型社会の構築と安全・安心かつ安定した廃棄物の処理	生ごみ減量推進事業	一般廃棄物対策課
			資源物集団回収団体活動促進事業	一般廃棄物対策課
			みどり等リサイクル推進事業	一般廃棄物対策課
			環境美化活動推進事業	一般廃棄物対策課
			ごみ減量教育推進事業	一般廃棄物対策課
			事業系一般廃棄物対策事業	一般廃棄物対策課
			ごみ集積所適正管理支援事業	一般廃棄物対策課
			路上死亡動物回収事業	一般廃棄物対策課
			連絡ごみ収集事業	一般廃棄物対策課
			資源物処理事業	一般廃棄物対策課
		(北部)ごみ収集事業	一般廃棄物対策課	
01	02	循環型社会の構築と安全・安心かつ安定した廃棄物の処理	西部清掃工場更新事業	廃棄物処理施設課
			西部清掃工場運営事業	廃棄物処理施設課
			衛生工場管理運営事業	廃棄物処理施設課
			衛生工場整備事業	廃棄物処理施設課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

政策番号	政策	事業名	担当課名
		旧施設管理事業	廃棄物処理施設課
		一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金	廃棄物処理施設課
		ごみ計量システム維持管理事業	廃棄物処理施設課
		廃棄物処理施設デジタル運営経費	廃棄物処理施設課
		廃棄物処理運営経費	廃棄物処理施設課
01	03	循環型社会の構築と安全・安心かつ安定した廃棄物の処理	埋立処分場管理運営事業
			平和清掃事業所
			埋立処分場整備事業
			平和清掃事業所
			(平和・南部)ごみ収集事業
			平和清掃事業所
			資源物処理事業
			平和清掃事業所
01	04	循環型社会の構築と安全・安心かつ安定した廃棄物の処理	天竜清掃工場管理運営事業
			天竜清掃事業所
			(天竜・浜北)ごみ収集事業
			天竜清掃事業所
			ごみ収集車両購入事業
			天竜清掃事業所
			資源物処理事業
			天竜清掃事業所
01	05	循環型社会の構築と安全・安心かつ安定した廃棄物の処理	産業廃棄物適正処理推進事業
			産業廃棄物対策課
02	01	生物多様性の保全	生物多様性保全推進事業
			環境政策課
			希少動植物生息地整備事業
			環境政策課
			環境教育推進事業
			環境政策課
03	01	快適で良好な生活環境づくり	大気・騒音対策事業
			環境保全課
			公共用水域水質保全事業
			環境保全課
			地下水保全事業
			環境保全課
			佐鳴湖水質浄化事業
			環境保全課
			PFAS浄化対策事業
			環境保全課
			PFASモニタリング事業
			環境保全課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

### 2026年度の取組の方向性

- ・ 持続可能な循環型社会の構築を目指し、GO!みんなで404チャレンジなど、ごみ減量キャンペーンを実施し、家庭ごみの減量・資源化に取り組めます。また、安定的な収集業務の管理運営に努めます。
- ・ 「はままつ循環経済パートナーズ(HAMACEP)」制度を活用し、官民が連携して循環経済への移行を推進します。
- ・ 安全かつ安定的なごみの処理を維持継続するため、清掃工場の管理運営及び更新を行うとともに、最終処分場の適正な維持管理により延命化を図ります。
- ・ 産業廃棄物の適正処理を促進するため、事業者(処分、収集運搬、排出事業者)への監視指導を実施します。また不法投棄の撲滅を目標と捉え、案件の大規模化や重篤化の防止を図ります。
- ・ 豊かな自然環境を未来に引き継いでいくため、生物多様性ははままつ戦略2024に基づき、ネイチャーポジティブの実現を目指します。
- ・ 快適で良好な生活環境を確保するため、事業者に対して環境法令に基づく規制基準の順守を指導するとともに、大気・水質の常時監視により環境基準の達成を目指します。

**【2026年度の評価】**

2026年度の基本政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載